

## CONTENTS

トピック	表紙
新しいメールサービス (WebMail) が はじまりました!	2
メールマガジンを活用しよう	3
教材作成現場レポート	4
コア・データベースを活用しよう	5
新しくなったRUNNERSを活用しよう	6 7
インフォメーション	8

# 総合情報センターだより

## ● 新RUNNERS ●

2000年4月、立命館大学学術情報システム(通称: RUNNERS)が新しくなりました。

## &lt; RUNNERSを使ってなにができるの? &gt;

立命館大学・立命館アジア太平洋大学で所蔵している図書や雑誌のデータベース、洋雑誌コンテンツデータベースを検索することができます。この4月からは、新刊情報(書店の新刊情報等)、図書コンテンツ情報(図書帯情報・目次情報等)が追加されました。

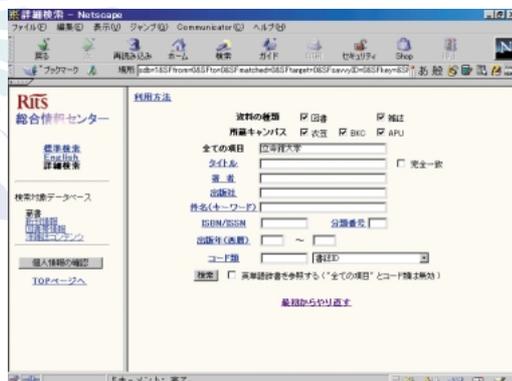
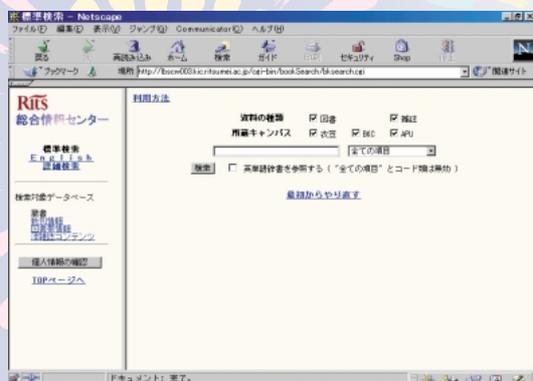
クラス・ゼミ等の活動での資料集め、授業の課題レポート作成など様々な学習や教育研究活動に、新しくなったRUNNERSをぜひ、ご活用ください。

## ● コア・デ - タベ - ス ●

コア・データベースとは、教育研究活動をはじめ、進路・就職活動にも活用できる基幹的な学術情報をネットワークを通じて提供している電子メディアです。

外国雑誌の目次情報や朝日新聞等の全文記事、日経四紙記事や企業情報など、この他にも様々な分野のデータベースを提供しています。また、コア・データベースとして位置づけているもの以外にも、学内外から利用できる有用なデータベースもあります。

5月から、日経テレコン21が専用端末以外からも利用できるようになりました。さらに使いやすくなったコア・データベースをぜひ、ご活用ください。



<新しくなったRUNNERSのWeb検索画面>

# 新しいメールサービス (WebMail) が はじまりました！

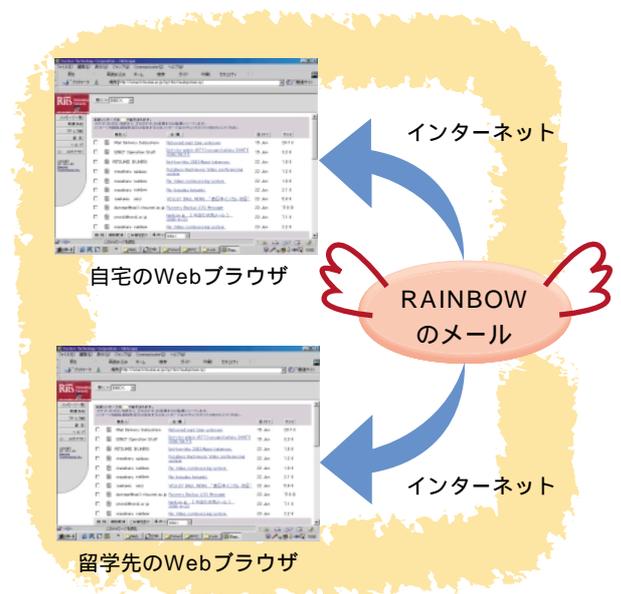
## WebMailとは？

WebMailは、インターネットに接続されたNetscapeやInternet ExplorerなどのWebブラウザから、RAINBOWのメールを利用するシステムです。

### ● WebMailはこんなに便利です！

インターネットに接続されたWebブラウザがあれば、どこからでもRAINBOWのメールを利用することができます。  
たとえば...

- 1) Webブラウザがあれば利用できますので、特にメールソフトは必要ありません。  
(推奨のWebブラウザのバージョン：Netscape 4.5以上、  
Internet Explorer 5.0以上)
- 2) 大学に直接PPP接続しなくても、個人で契約しているプロバイダやインターネットカフェなどからRAINBOWのメールを利用することができます。就職活動で地元に戻っている時や、出張先でもメールの利用が便利になりました。  
プロバイダと契約されている方は、大学に直接接続をしなくてもいいため、通信費の節約になります。
- 3) 留学先からでも、RAINBOWのメールを利用できます。WebMailには、メニューを英語表示に切り替える機能もあります。



### ● WebMailを利用してみよう！

まずWebMailのホームページを開きましょう！

利用にはRAINBOWユーザーIDとUNIXのパスワードが必要です。UNIXのパスワードが分からない方は、教育研究システム課までお越しください。

利用方法については、RAINBOW GUIDE2000 (P.55 ~ 60)、あるいは教育研究システム課窓口にて配布しているマニュアルを参照して下さい。

WebMailホームページ <http://wmail.ritsumei.ac.jp/>



### ● 現在 ATSONでメールを受信されている方について

WebMailでメールを管理される場合、メールの受信先をATSONからWebMail(UNIX側)に変更する必要があります。変更方法については、RAINBOW GUIDE2000 (P.70)か、教育研究システム課窓口にて配布しているマニュアルを参照して下さい。

### ! 注意

WebMailは、IMAPを利用するメールシステムです。POPとの併用はできません。OutlookExpressなどのメールソフトでPOPを使ってメールを取り込んでいる場合、一度WebMailで取り込んだメールは、そのメールソフトでは読むことができなくなりますのでご注意ください。WebMailと他のメールソフトを併用する場合は、メールソフト側の受信メールサーバの設定がIMAPであることを確認して下さい。

(教育研究システム課)

# メールマガジンを活用しよう

## メールマガジンとは？

電子メールで読む新聞・雑誌のようなものです。メールマガジンなら、あらかじめ登録しておけば求めている情報がメールで届くので、欲しい情報を簡単に手に入れることができます。メールマガジンはその内容によってたくさんの種類があります。メールマガジンを活用すれば、学生生活や就職活動などであなたの欲しい情報がきっとみつかるでしょう。

## ●メールマガジンを読んでみよう！

メールマガジンを提供しているホームページはたくさんあります。以下で紹介する代表的なメールマガジン発行サイトを見ましましょう。

まぐまぐ  
<http://www.mag2.com/>



The screenshot shows the homepage of 'まぐまぐ' (Mag2) in a Netscape browser window. The page features a large 'まぐまぐ' logo with a character, navigation menus for 'ニュース' (News), 'エンタテインメント' (Entertainment), 'マルチメディア' (Multimedia), 'ファッション・美容' (Fashion & Beauty), 'スポーツ・レジャー' (Sports & Leisure), 'アート・文芸' (Art & Literature), '情報源' (Information Sources), '交流・個人・情報交換' (Communication & Personal Information Exchange), and '暮らしと健康' (Living & Health). There is also a search bar and a 'メールマガジンランキング' (Email Magazine Ranking) section.

### 登録する

ホームページから読みたいメールマガジンを見つけてメールアドレスを登録すればOK。登録後、メールマガジンがあなた宛に届きます。

### 解除する

メールマガジンの購読を中止する場合は、登録解除が必要です。若干の違いはありますが、手続きは簡単なので、発行サイトの案内を見て解除しましょう。

### その他のメールマガジン

Macky! <http://macky.nifty.com/>

よみものさーち <http://www.yomimono.co.jp/>

### 注意

多種多様なメールマガジンがあります。学部学生のメール保存用のサーバ個人領域は5MB(理工学部生は10MB)です。メールマガジンがたまってサーバ個人領域があふれないよう、読み終わったものは削除するなどしましょう。メールマガジンにはさまざまな情報が流れています。情報を正しく取捨選択しましょう。

ほとんどのメールマガジンでは購読料は無料ですが、有料のものもあります。登録時に案内をよく読んで確認しておきましょう。

卒業するとメールアドレスは使えません。卒業する前に必ず登録の解除をしましょう。宛先不明のメールがインターネット上に飛びかい、迷惑になります。

# 教材作成現場レポート

コンピュータを使った教材開発について経済学部教授の野澤和典先生にインタビュー!!



経済学部  
野澤 和典教授

**Q** 先生は、主として、コンピュータ利用の英語教育を担当され、CALL (Computer Assisted Language Learning)と異文化コミュニケーションを研究されていますが、英語の授業でコンピュータとネットワークを使う理由はなんですか？

**A** 今までの多くの授業では、教師が一方向的に教え、学生が受身の学習をするという古典的な授業形態だったと思うのですが、コンピュータとネットワークを使うことで、今までとは違う学習体験をし、マンネリ化を防ぐことができ、学生一人ひとりに合ったレベルや教材内容を学生自身が選ぶことも可能で、常によい緊張感を与えることができます。その上、インターネット上には、優れた教材や教材になり得るものもあり、インタラクティブなものを使うことができるなどのメリットがあるからです。

**Q** ではなぜ、自分たちで教材を創らなければならないのですか？

**A** 市販の教材で素晴らしいものもありますが、そういうものに限って高価だったりしますし、カリキュラムの関係で採用できにくかったり、学生のレベルもまちまちです。いくらインターネット上に多くの教材があったとしても、学生のニーズに合った、しかも変化に富む内容で授業をする為には不足しているものを独自のもので補うことが必要なのです。

**Q** どのような環境で教材を開発しているのですか？

**A** 立命館大学にはメディアラボという教材開発するための共同スペースがあり、良く利用しています。個人環境では、予算の関係で購入できる機器や設置スペースに限界があります。メディアラボのような共同スペースであれば、ある程度これらの問題を解決できますし、何よりも同僚教員や教材開発スタッフと作業することができます。その上、パソコンだけでなく各種映像機器があり、簡易な映像編集もできとても便利です。

**Q** 近い将来の授業形態は、どうなるのでしょうか。

**A** 現在は欧米を中心にインターネット上に教材となりうるコンテンツ(文字だけでなく、動画や音声もあります)が増えつつあります。今後は、これらコンテンツをお互い交換し合ったりして、より良い教材を提供できるサイトとなっていくでしょう。また今まで有料だったサイトにスポンサーがついて無料化していく傾向もあり、インターネット利用の授業が特別なもので無くなるでしょう。

このような環境が整うと教師が学生に教えるという形態から学生自身が自分の興味や能力に合わせて、自分で積極的に学習し、また、学生同士で自分たちの学習成果を評価し合うという学習者中心のスタイルとなり、教師はその都度、学生の到達点や評価を行うことが中心になり、まさしくファシリテーター(Facilitator)としての役割が強まることになるでしょう。

立命館大学ではコア・データベースと呼ばれる教育研究用の有料データベースが、無料で自由にパソコンから使える環境にあるので、そういった授業形態も近い将来導入されるかも知れません。

本日はお忙しい中、本当にありがとうございました。教育の未来を感じることが出来ました。

(教育研究システム課)

# コア・データベースを活用しよう

## 朝日新聞Digital News Archives

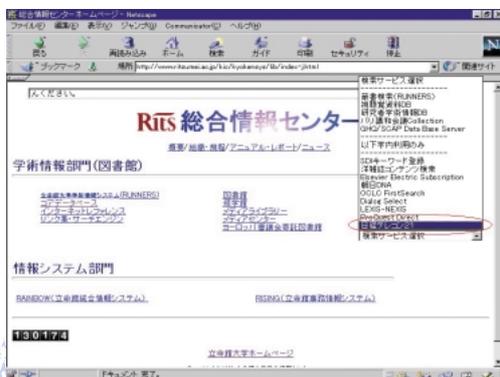
立命館へのPPP接続なしで学外からも利用できるようになりました。就職活動中で学校に行って調べる時間がないときも、自宅からはもちろん、街角のインターネットカフェからでも朝日新聞記事の検索ができます。また、これまでは、朝日新聞の全文記事しか見ることができませんでしたが、週刊朝日やアエラの記事も見ることができるようになりました。

## 日経テレコン21

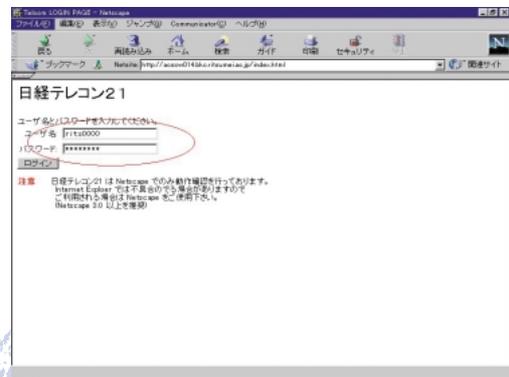
これまで図書館とキャリアセンターの専用端末のみの利用で、順番待ちが多かったですが、学内のネットワーク接続端末なら、どの端末からでも利用できるようになりました。マルチメディアルーム等のオープンルームで利用してください。また、立命館へPPP接続すれば、自宅からでも利用できます。

日経テレコン21をご利用の場合、Netscape3.0以上のブラウザをお使い下さい。  
Internet Explorerをお使いの場合はご利用できません。

## 例えば、日経テレコン21を利用してみよう



総合情報センターのホームページ  
<<http://www.ritsumei.ac.jp/www-lib/>> にアクセスし、画面の右側のQuickSearchから利用したいデータベースを選択します。今回は日経テレコン21を選択します。



ここにRAINBOWユーザーIDとUNIXパスワードを入力し、ログインボタンをクリックすれば、日経テレコン21のページにつながります。朝日新聞Digital News Archivesも同様です。

## コア・データベースとは

立命館大学が1999年度から提供しているインターネットを介して利用できる学術情報データベースです。教育・研究活動はもちろん進路・就職支援にも役立つものが多く、利用する価値は非常に大きいといえます。

### 提供している主なデータベース

Swets外国雑誌コンテンツ	外国雑誌の目次情報。キーワードで論文や掲載雑誌を検索可能。
朝日新聞Digital News Archives	1984年8月以降の朝日新聞、週刊朝日、アエラの全文記事を提供する。
Elsevier Science Direct 21	Elsevier Science社が提供する海外学術雑誌約150種類のデータを提供する。
日経テレコン21	日経四紙記事や企業情報のデータベース。
LEXIS-NEXIS Xchange	各国法令、判例、文献、新聞9000種、企業・財務情報等を提供する。
ProQuest	人文社会科学分野を広くカバーした全文データベース。
Dialog Select	Dialog社が提供する学術雑誌や新聞等の情報を提供する。
OCLC FirstSearch	世界最大の書誌であるWorld Catを中心に人文・社会・経済等60種類のデータベースを搭載。
RUNNERS選書DB	教員を対象とした新刊書籍情報。

**コア・データベースについては、「当面無料」で提供します！！**

キーワードを入力するだけで、情報検索できます。当面無料ですから、とにかく使ってみること。

データベースを使いこなす唯一の方法は慣れることです。

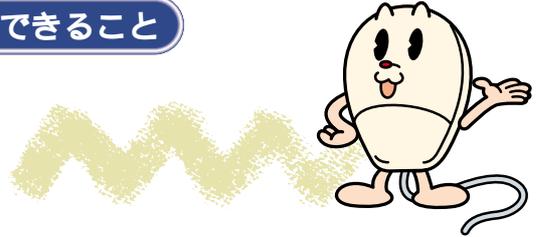
各データベースの詳細については、各図書館で配布している「学術情報データベース活用ハンドブック」や、前述の総合情報センターのホームページを参照してください。

# 新しくなったRUNNERSを 活用しよう

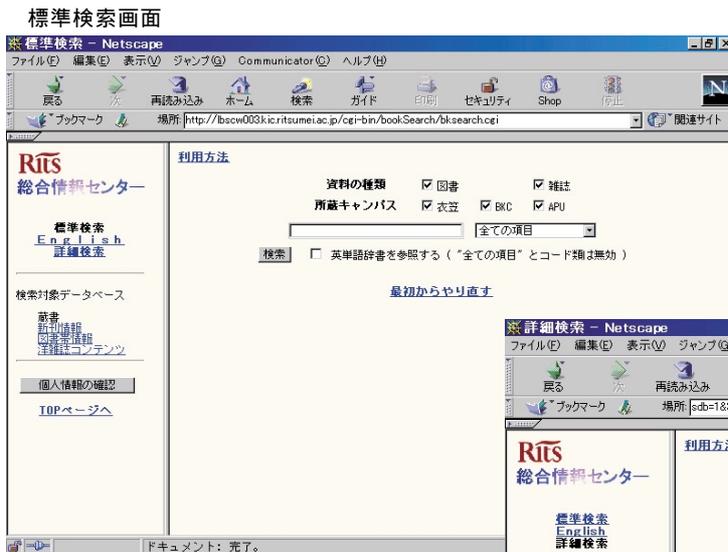
2000年4月からRUNNERSが新しくなり、文献検索の幅が広がりました。なお、現在まだ提供していない機能もありますが、後期からは全機能が稼動する予定です。

## 利用者がRUNNERSでできること

- 立命館大学・立命館アジア太平洋大学の蔵書検索
- 新刊情報の参照
- 図書コンテンツ情報（図書帯情報、目次情報など）
- 洋雑誌コンテンツ情報
- 貸出中資料の予約申込・他キャンパス資料の取寄申込（現在は、カウンターで受け付け処理中）
- 個人情報の確認（あなたの貸出・予約状況、返却期日等を参照できます）

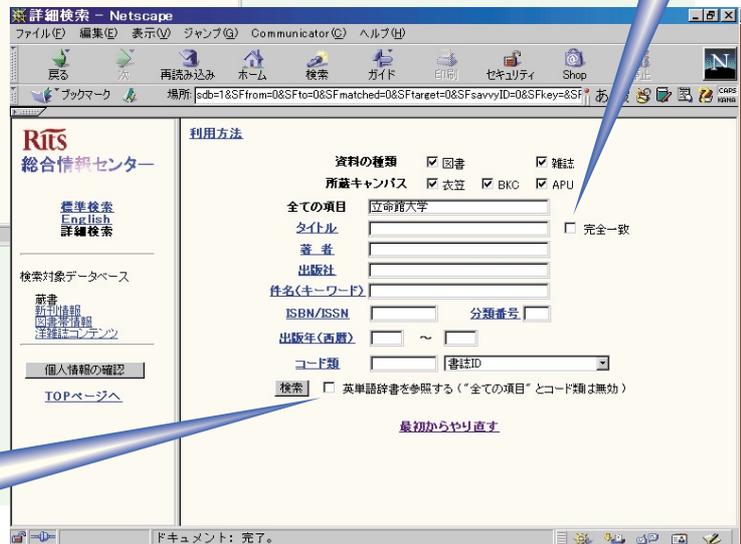


検索方法は、「標準検索」又は「詳細検索」、言語は「日本語」又は「英語」を選択できます。



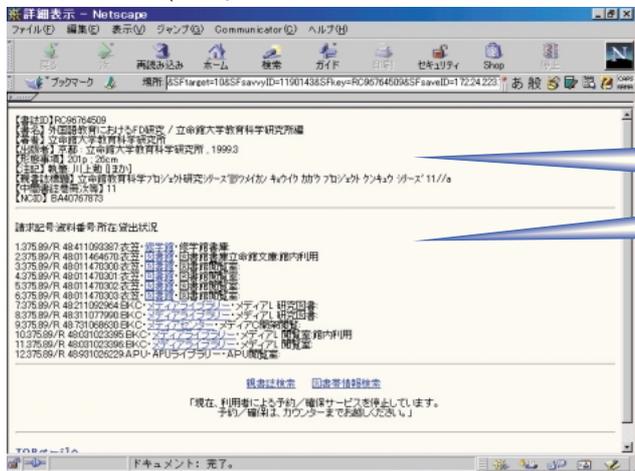
「完全一致」欄をクリックすると、前方一致・後方一致などの一部一致ではなく、検索語のみの「確定一致」データを特定できる。(タイトルのみ有効)

詳細検索画面



ここをチェックすると、検索語を独立した英単語として扱う。文字数の少ない検索語を使う際に有効。

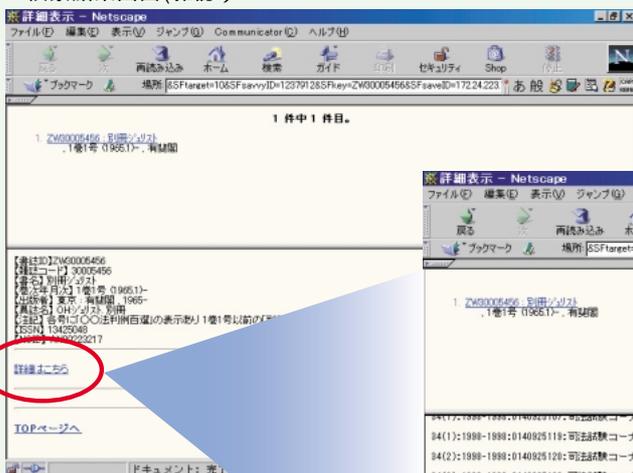
検索結果画面(図書)



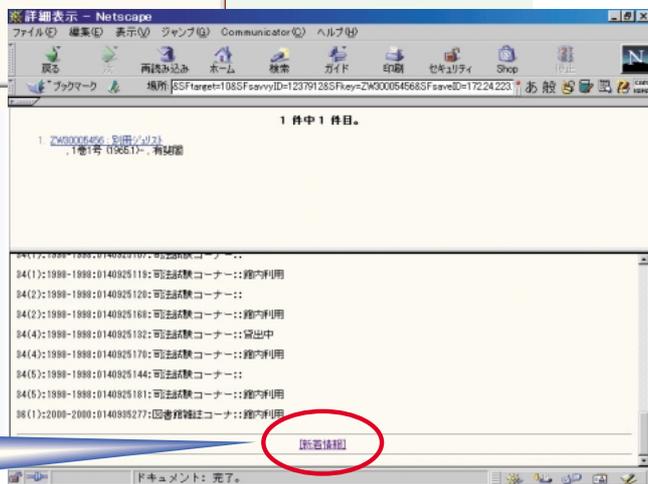
一覧表示から資料を絞ってクリックすると図書の場合は書誌と所蔵情報が表示される。

所在と貸出状況の表示と資料へのアクセス方法の違いに注目!

検索結果画面(雑誌)



雑誌の場合は、「詳細はこちら」をクリックすると所蔵先別の一覧が表示される。さらに「新着情報」を見ると、受入られた最新刊を確認できる。



RUNNERSで提供しているデータベースとその内容

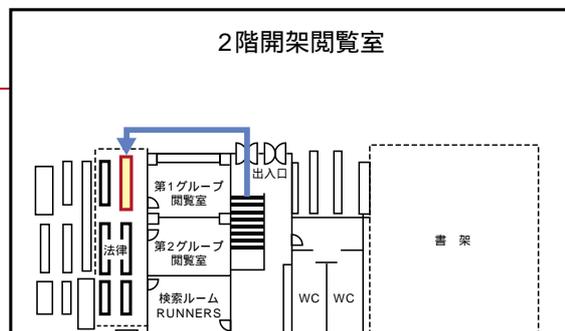
データベース	検索対象	特徴
本学蔵書の検索	雑誌の全てと1957年以降の受入図書	本学蔵書を、全キャンパス、全機関にわたって検索できる。
新刊情報	出版流通企業による新刊書籍情報	本学未購入を含めて、流通業界が把握している出版情報を検索できる。
図書コンテンツ情報	1986年より構築開始(約57万件)	本学蔵書を含んで、通常の書誌項目にとどまらず、概要・目次・帯情報など検索の枠を広げることができる。さらに小説のあらすじまで検索が可能。RUNNERSの「図書所蔵情報」とリンクしているため本学所蔵の有無が瞬時に把握できる。本学未購入図書以外の目次&帯情報も利用可能。
洋雑誌コンテンツ情報	1995年以降の外国雑誌目次情報(1022万件)	主要な雑誌論文を論文名や著者などから検索し、掲載誌名・巻・号・ページなどを把握できる。RUNNERSの「雑誌所蔵情報」とリンクしているため本学所蔵の有無が瞬時に把握できる。本学未購入雑誌以外の目次情報も利用可能。

RUNNERSは、本学に所蔵していない資料を含めて検索することができます。従来から提供していた洋雑誌コンテンツ情報に加え、図書の目次情報や新刊情報なども使えるようになり、資料検索の幅が大きく広がり、便利になりました。本学蔵書になれば、リンク集からNACSIS Webcatを使って、他大学・他研究機関の蔵書を検索することができます。他大学資料を利用したい時は、必ずレファレンスカウンターで申込んで下さい。

## 〔司法試験コーナーを設置しました〕

衣笠図書館では、司法試験合格をめざす利用者支援として「司法試験コーナー」を2階東側、法律区分の一角に設置しました。法律基本用語集・判例百選・重要判例解説・その他司法試験突破のための図書・雑誌などで、現在170タイトル350冊以上揃えています。『館外貸出』もしています。

利用の高いタイトルは館外貸出を複数購入していく予定です。ぜひ、ご利用ください。



## インフォメーション

### ● 夜間返却用ブックポストを廃止しました。

返却図書の授受を確実にを行う為、ブックポストを廃止しました。各キャンパスの施設(衣笠図書館・メディアセンター・メディアライブラリー)どこでも返却が可能です。開館時間内にインフォメーションカウンターで返却してください。資料の貸出・返却時にはレシート(貸出期間、返却確認が記載されています。)を必ずお受取りください。

### ● 館内利用資料の返却方法が変わりました。

図書館閲覧室で閲覧した資料は、書架には戻さず、返却台(衣笠:青色、BKC:緑色)に置いてください。資料のあった同じフロアの返却台に戻すようご協力ください。

### ● 学部学生の修学館所蔵資料の利用方法が変わりました。

RUNNERSで蔵書検索した結果のハードコピーを修学館1F共同閲覧室のカウンターに持参し、閲覧予約をして下さい。準備の関係で閲覧までに時間を要する場合があります。ご了承ください。

### ● 文学部以外の学部学生の人文系文献資料室所蔵資料の利用方法が変わりました。

RUNNERSで蔵書検索した結果のハードコピーに各図書館等最寄りのレファレンスカウンターの承認印を押印したものを持参し、閲覧予約してください。

## メディアラボをご利用ください。

メディアラボは、教員が教材開発するための施設です。ビデオからデジタルのまま取り込み動画・静止画簡易編集が可能な教材開発支援パソコンの他、ビデオ等のメディア変換も可能な環境を整えています。

### 「メディア変換」

海外のビデオ(PAL方式など)を日本のビデオ(NTSC方式)へ変換

ハンディカメラ(Hi-8、miniDV)の映像をVHSへ変換

### 「放送波録画」

授業で使う番組を予約録画

### 「オーディオカセット高速ダビング」

自作したカセットテープを最大7本同時に高速ダビング

### 「映像教材作成」

ビデオテープの状態でも簡易編集

パソコンに取込んで簡易編集し、ビデオテープへ出力



びわこ・くさつキャンパス  
メディアラボ3

衣笠キャンパス  
メディアラボ

\*各キャンパスに必要な機器がそろっています。ぜひご利用ください。

#### 衣笠キャンパス

メディアラボ(有心館1F)  
Audio-Visual Laboratory(AVラボ)

#### びわこ・くさつキャンパス

メディアラボ1(イーストウィング1F)  
メディアラボ3(アクロスウィング1F)

夏休み期間中は、貸出冊数および貸出期間を拡大しています。ぜひご利用ください。また、各図書館やオープンパソコンルームの利用方法については総合情報センターのホームページ(<http://www.ritsumei.ac.jp/www-lib/>)や掲示板で確認のうえご利用ください。